

全国特別重点調査における優先的に実施すべき箇所の調査結果について

埼玉県八潮市の道路陥没を受けて、令和7年3月18日付で国土交通省から要請のあった「下水道管路の全国特別重点調査」を実施しています。このたび、管路の腐食しやすい箇所などを含む優先的に実施すべき箇所の管路調査及び空洞調査を実施しましたので調査結果をお知らせします。

(1) 本市における調査対象

内径2m以上かつ1994年度以前に設置・改築された管路 約35km
うち、優先的に実施すべき箇所 0.82km（別紙）

- [優先的に実施すべき箇所]
- ① 八潮市の道路陥没現場と類似の構造・地盤条件の箇所
 - ② 構造的に腐食しやすい箇所または過去の調査で腐食が確認され未対策の箇所
 - ③ 緊急輸送道路で下水道起因の陥没履歴がある箇所
 - ④ 沈砂池の堆積土砂が顕著に増加した処理場・ポンプ場につながる管路

(2) 調査方法

- 人が管路内に入って行う目視やテレビカメラによる調査
- 管路内の破損状況等による緊急度判定
- 緊急度が高いと判定された箇所では、空洞探査車等による路面下の空洞調査

(3) 調査の結果

目視およびテレビカメラ調査の結果、下水道管路内に腐食や浸入水が確認され、その後の空洞調査により下水道管の破損に起因すると考えられる空洞が2箇所確認されました。

空洞は地盤面から比較的深い位置にあり、現時点では直ちに大規模な道路陥没が発生する可能性は低いと判断しています。

優先実施 対象延長 [m]	管路調査の結果						空洞調査の結果	
	緊急度Ⅰ※1		緊急度Ⅱ※2		緊急度ⅠまたはⅡと判定されなかった延長 [m]	未了延長 (未調査) [m]	空洞調査 延長 [m]	空洞 箇所数 [箇所]
	延長 [m]	要対策延長 [m]	延長 [m]	要対策延長 [m]				
818	145	145	620	186	0	※3 54	818	2

※1 緊急度Ⅰ：速やかな対応実施（原則1年以内）＜全国統一の判定基準＞
※2 緊急度Ⅱ：応急措置を実施した上、5年以内に対策実施＜全国統一の判定基準＞
要対策延長は部分的対策が含まれるため延長差が生じている
※3 未判定：端数処理により延長差が生じている

(4) 今後の対応

緊急度Ⅰ路線は、来年度、速やかに改築工事を実施する予定です。

緊急度Ⅱ路線については、必要な応急措置を実施した上で、5年以内に計画的な対策を実施します。

そのうち空洞が確認された2箇所については、管内の補修工事に着手し、10月末の完了を目指しており、補修完了後、速やかに空洞の復旧工事を実施する予定です。

また、引き続き、優先的に実施すべき箇所の管路調査未了区間及び優先すべき箇所以外の調査を進めていきます。

【問い合わせ先】 新潟市下水道部下水道管理センター維持管理課 担当：西山・高橋 電話：025-281-9060（直通）
--

※ 参考

本日、国土交通省において、下水道管路の全国特別重点調査について優先実施箇所の調査結果（全国分）を公表します。

別紙

幹線名：河渡1号幹線
延長：54m
調査結果：未調査

幹線名：新潟4-1号幹線
延長：145m
調査結果：緊急度Ⅰ

幹線名：近江1号幹線
延長：436m
調査結果：緊急度Ⅱ
空洞箇所：2箇所

幹線名：鳥屋野幹線
延長：142m
調査結果：緊急度Ⅱ

幹線名：神道寺1号幹線
延長：42m
調査結果：緊急度Ⅱ

凡例

管路調査結果

緊急度Ⅰ
緊急度Ⅱ
未調査

※空洞：下水道管の破損に起因するもの